



犬山ロータリークラブ

INUYAMA R.C. 国際ロータリー 2016～2017年度テーマ

Rotary 第2760地区
犬山ロータリークラブ

■会 長：田中進一郎
■幹 事：高橋 秀治
■会報委員長：近藤 俊也

事務所／〒484-0081 犬山市大字犬山字西畑 22-5
電 話／0568-61-5219 F A X／0568-61-5523
U R L／http://www.inuyama-rc.org/ e-mail／info@inuyama-rc.org
例会場／〒484-0082 犬山市大字犬山字北古券 107-1 名鉄犬山ホテル
電 話／0568-61-2211 毎週火曜日／12：30～13：30

第2665回 例会 (H28.9.21 水 雨)

【ガバナー公式訪問 犬山 RC・江南 RC・小牧 RC・岩倉 RC・愛知 REC 5 クラブ合同例会】

点 鐘 小牧 RC 名和 千博会長
R . S ♪ 君が代 奉仕の理想
ビジター紹介 愛知 REC 森 俊明会長
☆R.I.第 2760 地区
2016-2017 年度ガバナー 服部 良男 様
☆R.I.第 2760 地区
2016-2017 年度地区幹事 岩月 昭佳 様

ニコボックス (埴田惣一委員長)
本日の投函金額 29,000 円

幹事報告

1) 下記クラブは例会変更です

クラブ名	例会日(曜)	場所(変更理由)
瀬戸北	9月27日(火)	(夜間例会)
岩倉	9月27日(火)	(定款 6-1 による休会)
名古屋城北	9月27日(火) →9月25日(日)	(秋の家族会)
瀬戸	9月28日(水)	(ファイヤーサイト`ミーティング` (夜間))
可茂	9月28日(水)	(岐阜城 RC との 合同例会)
小牧	9月28日(水)	(定款 6-1 による休会)
名古屋守山	9月28日(水)	(夜間例会)
各務原	9月28日(水)	(IGM 夜間例会)
可児	9月29日(木)	(IGM 夜間例会)
名古屋丸の内	9月29日(木) →9月28日(水)	(ガバナー公式訪問)
名古屋みなと	9月30日(金) →9月28日(水)	(ガバナー公式訪問)
名古屋東	10月3日(月)	(夜間例会・ 新会員歓迎会)

出席報告 (丹羽敬昇委員長)

出席率 63.83%

会員 61 名 出席 30 名 欠席 31 名

欠席者 安達英昭君 福富孝弘君 原正男君
稲垣圭次君 河田敏和君 紀藤政司君
牧野武彦君 松平實胤君 松山基邦君
三浦和昌君 野村憲治君 大海敏道君
大澤渡君 大藪雅章君 澤田禪君
鈴木一成君 山田直廣君

前例会の修正(9/13分)

藤井友喜君(9/13eCLUBONE)加藤浩一君(9/7 第2回 R 財団委員会運営会議)紀藤政司君(9/13eCLUBONE)
牧野武彦君(9/14 可茂 RC)大澤渡君(9/9eCLUBONE)
山田直廣君(9/10 eCLUBONE)塚原義成君(9/15 可児 RC)

以上 87.04%を 100%に修正

前々例会の修正(9/6分)

谷定貴之君(9/16 地区社会奉仕委員会)

以上 98.15%を 100%に修正

会長挨拶 (小牧 RC 名和 千博会長)



皆さんこんにちは！今日は、小牧の地で服部ガバナーをお迎えし、公式訪問合同例会が多の皆様のご協力を得、開催されます事を改めてお礼申し上げます。最後までこの共有している時間をお楽しみいただきと思います。

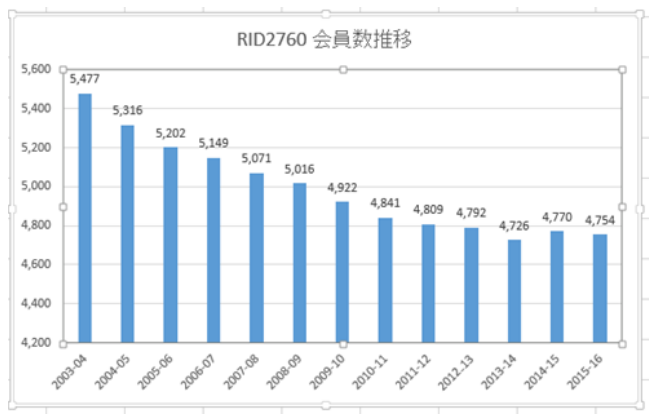
私も今回の開催にあたり、カバナー地区方針をこれまでになく、繰り返し読ませていただきました。もちろん、江崎パストガバナーの次となりますが。方針を理解したうえで改めて言葉をうかがい、更に理解を深めたいと思います。

さて、開会に先立ちまして服部ガバナーと懇談をさせて頂く時間がございました。そこで、服部ガバナーとの会話を通じイメージと違う素敵な笑顔と暖かい人柄にふれました。

本年の地区方針は、ロータリーの使命を遂行する為、そして持続可能な組織とする為にもまずは、私達ロータリーの持つ価値・強みをよく理解し、実践に移しその上でスケールメリットを活かし広く PR をしていきましょう。そう理解いたしました。

ロータリアンの使命は、在籍する事が重要ではなく、実践する事に意義を見出すことが大事だと思います。

言い換えれば「人類に奉仕するロータリー」とは、ロータリアンは困っている人がいたら、背を向けず、自分のできることをする、それが奉仕で、その結果、人が笑顔になること、仲間のロータリアンとその奉仕の輪を広げること、それがロータリーだということが会長が一番大きな思いであります。



これは 2760 地区の 10 年間の会員の数です。右肩下がりであり会員数が減っております。約 2 割の減少をしております。この会員の減少を RI でも大きな課題として捉え、100 年を超え次の 200 年に向けて、チャレンジしようとしております。会員数の減少を例えば企業の売上にしますと、売上がずっと下がり続けたときに、何をすれば良いか、マーケティングなど、いろいろ考えますが、まずは企業における強み、ブランドは何であるかを再認識しましょう。次にブランドを明確にしたら、それを社員、組織の人間と共有しましょう。3 番目はブランドを使った商品やサービスの開発をする。そして最後にこの商品やサービスの価値をお客様にお伝えしていく。これがマーケティングであります。この 4 つのプロセスを国際ロータリーはやろうとしております。

- Fellowship (親睦)
- Integrity (高潔性)
- Diversity (多様性)
- Leadership (リーダーシップ)
- Service(奉仕)

国際ロータリーがやろうとしている戦略計画を説明させていただきます。

まずロータリーのブランドは何か、中核的価値と位置付けております。

1 つ目は Fellowship、親睦であります。Fellow とは同じ目的を持った仲間のこと、Ship とはその関係を維持することです。

2 つ目は Integrity、高潔性、倫理性で、ロータリーの原点であります。

3 つ目は Diversity、多様性であります。世界 200 ヶ国を超える国、性別、職業、宗教、そしてポール・ハリスがロータリー創設時に言った「多様性と寛容さ」の両方を持たなければならないということ、これがロータリーが世界で奉仕活動できる、とてもロータリーらしいところだと思っております。

4 つ目は Leadership、リーダーシップであります。

ロータリーでのリーダーシップはビジョンを実現できること。Ship とはリーダーを維持するために、ロータリー活動を通じて、リーダーシップを益々磨いていくことであります。

最後に 5 つ目は Service、奉仕であります。ロータリアン、ロータリーが人々に与えられる唯一の言動や行動であります。困っている人がいたら一緒に考え、出来ることをし、その人を笑顔にする行動のことをいいます。最初の 4 つ、親睦、高潔性、多様性、リーダーシップはロータリーが持っている特徴であります。この 4 つの特徴を使ってサービス、奉仕活動をする。そして人を笑顔にする。これが奉仕であります。奉仕とは定義するものではなく、笑顔でない人を笑顔にする言動、行動。人を笑顔にするには、ロータリアンは高潔性を持ち、多様性を受け入れられる寛容さを持ち、リーダーシップで問題を分析し企画しアクションを起こすこと。そのためには、我々が笑顔でなくては行けない。提供する人達が笑顔でなければ、サービスを受ける人達も笑顔になりません。人が人に価値を与える言動や行動をし、それを受けた人が言動や行動に感謝して笑顔になる事、これがサービスというプロセスだと理解しております。この人が人を笑顔にする行為を持続可能にしていくには、経済軸、資金がいるわけです。ビジネスにおいては、価値を提供したお客様から、笑顔になっていただいてその対価をいただきます。公共事業においては、その資金は税金です。公益事業、学校や病院は、保護者からの授業料や補助金であります。これによって持続可能にできるわけです。ではロータリーにおいては何なのかといえ、それは皆さんの入会金や会費であったり、奉仕活動するための寄付であります。この寄付を 100 年間なくならないよう、うまく使えるように管理してきたのがロータリー財団であります。すなわちロータリーは 111 年間、人を笑顔にする活動をしてきましたが、財団があったから持続してこれたわけです。財団がなければ、111 年間、123 万人が活動できてなかったのです。この財団が 100 年経ったことをお祝いし、さらに次の 100 年に向かって、もっといいことしようよというのが、今回の 100 周年の記念であります。ぜひご理解いただければと思います。

地区方針は『「Be The Rotarian, Find A Rotarian」～真のロータリアンになろう、ロータリアンを見つけよう～』とさせていただきます。真のロータリアンとは何か。

- ロータリーブランドを認識し、磨きましょう。
- 人道的奉仕活動に参加し、人を笑顔にしましょう。
- 仲間と一緒に奉仕活動をし、ロータリーのブランドを地域の人に伝え、新しいロータリアン、仲間を見つけましょう。ということであります。

地区のビジョンは、10 年後 20 年後も地区の輝きが持続可能であることであります。

日本には 34 地区あり、全て課題と特徴は違う訳で、2760 地区はいろいろなものが活性化された地区であります。しかし、現在は活性化しているけれど、10 年後 20 年後もその輝が続いていくかは課題だと考え

